

巻 頭 言

学 長 安 藤 恒三郎

本学は、赤十字の掲げる人道 humanity の理念を基調に、国内・国際社会で活躍し得る実践力のある看護師・保健師を育成する大学として、開学 12 周年を迎えました。1100 名を超える卒業生が、中部ブロック管内の赤十字病院をはじめ、各分野で活躍しています。

平成 22 年 4 月に大学院修士課程を開設し、本年 4 月からは赤十字学園の 4 大学（日本赤十字北海道看護大学、日本赤十字秋田看護大学、日本赤十字広島看護大学、日本赤十字九州国際看護大学）と共同で、大学院看護学研究科共同看護学専攻・博士課程を開設いたします。本学の今後の発展にとって一つの大きな節目と言えるでしょう。

今回は、学内外から医療安全に関する寄稿や急性期看護、慢性期看護に関する研究、実践報告など多数投稿いただきました。

本学と豊田市は、相互の発展と充実に資するため、また地域社会の文化・教育、まちづくり等の振興に係る連携及び協力を推進するために、包括的連携協定を交わしています。豊田市は外国人居住者が多い都市です。「外国人防災対策—災害時のコミュニテイゼロー」を目指して、本学の学生、教職員、日本赤十字社愛知県支部、豊田市と合同で一泊二日の防災キャンプ訓練を実施しましたが、その報告書も載せていただきました。ぜひご一読ください。

大学の学生教育は教員の研究成果によって裏打ちされます。優れた研究業績を本紀要に発表されることを期待しています。なお、同時に、学外からの投稿および大学院生の文献レビューや卒業生の研究論文が投稿されることを歓迎したいと思います。